

Title: 耳鼻咽喉科専門病院にての鍼治療の適応について

林 賢

神尾記念病院は、創業 100 年を越える耳鼻咽喉科専門病院であり、毎月新患者数は 1000 人を超え、患者延べ人数は毎月 7000 人を上回る患者が来院している。その患者の中でも特に多い疾患が、「突発性難聴」、「耳鳴」、「顔面神経麻痺」、「嗅覚障害」などの感覚器疾患である。当院では、耳鼻咽喉科専門医が診断・治療にあたる。その後、治療抵抗性を示す難治性感覚器疾患の患者に対して、鍼治療の特性である「筋弛緩作用」、「末梢神経・脳神経刺激効果」、「血管拡張効果」を利用し、代替医療として鍼治療を行っている。鍼治療の適応を決める際には、診察時に下顎部と頸部のトリガーポイントに注目し、適応患者の目安としている。特に「突発性難聴」、「耳鳴」、「顔面神経麻痺」については、片側に起こる理由が極めて重要であり、トリガーポイントの有無は治療効果予測においても極めて重要な因子である。また、鍼治療時には筋硬度計を使用し、筋弛緩と疾患治療効果の相関を確認している。

現時点では、これらの疾患に対する鍼治療のエビデンス確立までには至っていないが、鍼治療の有効性は確認してきた。今回は、耳鼻咽喉科難治性感覚器疾患に対する鍼治療の適応と治療メカニズムについて説明する。

Title: 耳鼻咽喉科における鍼治療の実際

鳥海 春樹

耳鼻咽喉科領域疾患に対する鍼治療として、特に耳鳴に対する鍼治療について当院の治療法をご紹介します。生涯罹患率 2 割と言われる耳鳴りですが、鍼灸院においては、耳鳴は他の主症状と共に訴えられる付随症状であることが多く、すでに慣化が完了した状態であることが多いと思われます。しかしながら、耳鼻科専門病院を受診するような耳鳴患者は症状が重篤であり、また不幸な事に、この急場に対処する方法を、現在の耳鼻科専門医は持っていないのが現状です。鍼灸は耳鳴が慣化するまでの期間を短縮させる強力な方法であり、今後、耳鼻咽喉科専門医と連携したシステムチックな活用法を確立することが重要と考えます。まずは鍼灸の効果と専門医と共有することが最初の一步です。神尾記念病院においてなされている、効果機序に不明な点を残したままで診療ツールとして鍼灸を使う試みについて、活発な御討論を御願いたします。

林賢

医療法人財団神尾記念病院 医長

1995（平成7）年 東海大学医学部卒業

1995（平成7）年 広島大学 耳鼻咽喉科

2000（平成12）年 広島大学病院 病理部

2002（平成14）年 東京医科大学 耳鼻咽喉科

2003（平成15）年 新川クリニック

2013（平成25）年～ 慶応義塾大学耳鼻咽喉科 非常勤講師

2014（平成26）年 神尾記念病院

専門領域 中耳手術、めまい、耳鼻咽喉科一般

学位 医学博士

所属学会 日本耳鼻咽喉科学会、日本耳科学会、日本めまい平衡医学会、  
アメリカ耳鼻咽喉科学会（AAO-HNSF）

鳥海 春樹

医療法人財団神尾記念病院 東洋治療室

1997（平成9）年 花田学園本科卒業

1997（平成9）年 健翔指圧治療院 鍼灸按摩師

2000（平成12）年 自由が丘鍼灸院 副院長

2002（平成23）年 慶應義塾大学大学院医学研究科修了

2011（平成23）年 慶應義塾大学医学部特任助教

2012（平成24）年 慶應義塾大学神経内科 非常勤講師

2013（平成25）年 慶應義塾大学大学院 特任准教授

2014（平成26）年 神尾記念病院東洋治療室 非常勤鍼灸師

専門領域 片頭痛・耳鳴

学位 医学博士

所属学会 日本脳循環代謝学会（評議員）  
日本神経学会、日本頭痛学会、日本微小循環学会、  
日本自律神経学会、日本疼痛学会、全日本鍼灸学会